

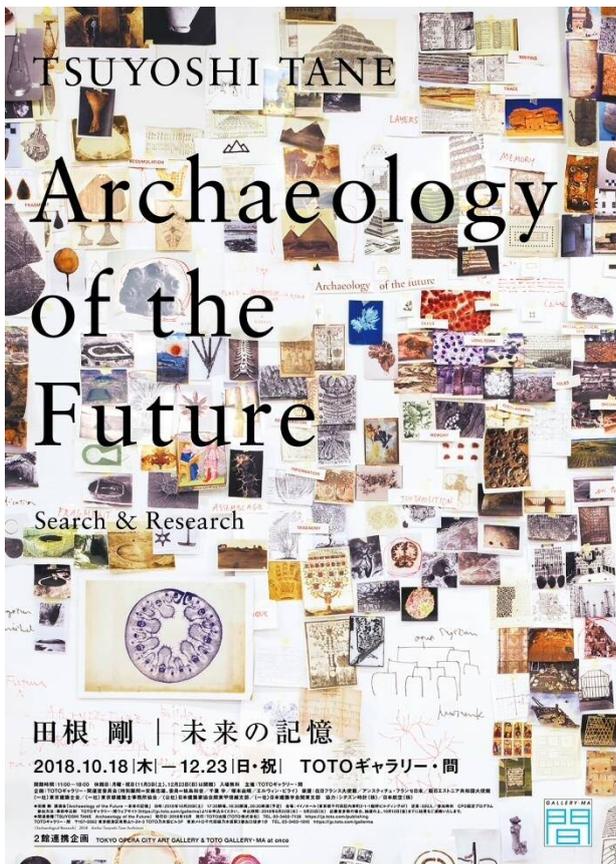


田根 剛 | 未来の記憶

Archaeology of the Future—Search & Research

TOTOギャラリー・間(東京都港区)は建築家・田根 剛氏の個展「田根 剛 | 未来の記憶 Archaeology of the Future—Search & Research」を2018年10月18日(木)～12月23日(日・祝)の会期で開催します。また、関連イベントとして田根 剛氏による講演会も開催します。

本展覧会は、東京オペラシティ アートギャラリー(東京都新宿区)との連携企画です。



展覧会

会期=2018年10月18日(木)～12月23日(日・祝)

会場=TOTOギャラリー・間

(東京都港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル3F)

休館日=月曜・祝日

※11月3日(土)、12月23日(日)は開館

開館時間=11:00～18:00 入場無料

講演会

日時=2018年10月20日(土)

17:30 開場、18:30 開演、20:30 終演(予定)

会場=イイノホール

(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4F)

定員=500人/参加無料

CPD 認定プログラム

参加方法=事前申込制

TOTOギャラリー・間ウェブサイト(<https://jp.toto.com/gallerma>)

よりお申込みください

申込期間:2018年8月22日(水)～9月25日(火)

応募者多数の場合、抽選の上、10月12日(金)までに結果をご連絡します。

展覧会概要

フランスを拠点に世界各地でプロジェクトを進め、現在幅広い注目を集める気鋭の建築家・田根剛。20代の若さでドレル・ゴットメ・田根(DGT.)として〈エストニア国立博物館〉の国際設計競技に勝利し、選出から約10年の歳月を経た2016年秋に同プロジェクトが竣工を迎えるなど、国内外の注目がさらに高まっています。また、2012年に行われた新国立競技場基本構想国際デザイン競技(ザハ・ハデイド案選出時)に参加し、11人のファイナリストに選ばれた〈古墳スタジアム〉は幅広い層に知られるきっかけとなりました。2017年のDGT.解散後はAtelier Tsuyoshi Tane Architectsをパリに設立し、活動の場をさらに広げています。

このたび東京オペラシティアートギャラリーとTOTOギャラリー・間は、田根剛の展覧会を同時期に開催します。「田根剛 | 未来の記憶 Archaeology of the Future」を共通のテーマにしながら、田根の密度の高いこれまでの活動と、建築は記憶を通じていかに未来をつくりうるかという挑戦を、ふたつの会場で紹介します。東京オペラシティアートギャラリーでは「Digging & Building」と題して、場所をめぐる記憶を発掘し、掘り下げ、飛躍させる手法と、そこから生み出された〈エストニア国立博物館〉〈古墳スタジアム〉といった代表作や最新プロジェクトを大型の模型や映像などによって体感的に展示します。TOTOギャラリー・間においては「Search & Research」にもとづき、建築における思考と考察のプロセスが展開され、田根のすべてのプロジェクトで実践されている「Archaeological Research(考古学的リサーチ)」の方法論を展覧します。ふたつの展覧会は、場所の記憶をさまざまな角度から分析することで新たな系をつくり、未来につながる建築へと展開させていく、田根の探求と実践のプロセスを総合的に提示しようとするものです。

記憶は現在を動かし、未来をつくる——この信念にもとづいた田根の創造は、都市の担い手である私たち一人一人にとって建築のもつ力や使命、未来への可能性を考えるきっかけとなるでしょう。

東京オペラシティ アートギャラリー／TOTOギャラリー・間

展覧会詳細

展覧会名(日) 田根剛 | 未来の記憶 Archaeology of the Future—Search & Research

展覧会名(英) Tsuyoshi Tane | Archaeology of the Future—Search & Research

会期:2018年10月18日(木)~12月23日(日・祝)

開館時間:11:00~18:00

休館日:月曜・祝日 ※11月3日(土)、12月23日(日)は開館

入場無料

会場:TOTOギャラリー・間(〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル3F)

東京メトロ千代田線乃木坂駅3番出口徒歩1分

TEL:03-3402-1010 <https://jp.toto.com/gallerma>

主催:TOTOギャラリー・間

企画:TOTOギャラリー・間運営委員会

(特別顧問=安藤忠雄、委員=妹島和世／千葉 学／塚本由晴／エルウィン・ピライ)

後援:在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本／駐日エストニア共和国大使館／

(一社)東京建築士会／(一社)東京都建築士事務所協会／(公社)日本建築家協会関東甲信越支部／

(一社)日本建築学会関東支部

協力:シチズン時計(株)／日本航空(株)

展覧会コンセプト

Archaeology of the Future—未来の記憶

まだ誰も見たことのない、経験したこともない、想像すらしたことのない、そんな建築をつくりたいと思っています。でもそれは奇抜な未来型の建築とは違う、場所の記憶からはじまる建築、そんな途方もないことを考えています。

私はいつも考古学者のように遠い時間を遡り、場所の記憶を掘り起こすことから始めます。そこでは今日の世界から忘れ去られ、失われ、消えてしまったものに遭遇し、それらを発見する驚きと喜びがあります。その時、記憶は過去のものでなく、未来を生み出す原動力へと変貌するのです。

場所には必ず記憶があります。建築はその記憶を継承し、未来をつくることができるのです。未来は必ず訪れます。建築はこの時代を動かし、未来のその先の記憶となります。まだ誰も見たことのない未来の記憶をつくること、建築にはそれが可能だと信じています。

田根 剛

建築家プロフィール

田根 剛(たね つよし) Tsuyoshi Tane

Atelier Tsuyoshi Tane Architects の代表としてフランス・パリを拠点に活動。現在ヨーロッパと日本を中心に世界各地で多数のプロジェクトが進行している。主な作品に〈エストニア国立博物館〉(2006-16)、〈A House for Oiso〉(2014-15)、〈LIGHT is TIME〉(2014) (以上 DGT.)、〈(仮称)弘前市芸術文化施設〉(2017-)など。フランス文化庁新進建築家賞(2007)、フランス国外建築賞グランプリ(2016)、第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞(2017)など受賞多数。2012年よりコロンビア大学GSAPPで教鞭をとる。



photo: Yoshiaki Tsutsui

関連イベント

田根 剛講演会「Archaeology of the Future—未来の記憶」

CPD 認定プログラム

日時: 2018年10月20日(土) 17:30 開場、18:30 開演、20:30 終演(予定)

会場: イイノホール(東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4F)

定員: 500人/参加無料

参加方法: 事前申込制

TOTOギャラリー・間ウェブサイト(<https://jp.toto.com/gallerma>)よりお申込みください。

申込期間: 2018年8月22日(水)～9月25日(火)

応募者多数の場合、抽選の上、10月12日(金)までに結果をご連絡します。

関連書籍

『TSUYOSHI TANE Archaeology of the Future』

著者: 田根 剛

発行日: 2018年10月

発行: TOTO出版(TOTO株式会社) <https://jp.toto.com/publishing>

[タイトル]

田根 剛 | 未来の記憶

Archaeology of the Future—Digging & Building

[展覧会情報]

会期:2018年10月19日(金)~12月24日(月)

開館時間:11:00~19:00(金・土は20:00まで/最終入場は閉館の30分前まで)

休館日:月曜日(ただし12月24日は開館)

入場料:一般1200[1000]円/大・高生800[600]円/中学生以下無料

*同時開催:「収蔵品展 064 異国で描く」、「project N 73 中村太一」の入場料を含みます。収蔵品展入場券200円(各種割引は無し)もあり。

*[]内は15名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

会場:東京オペラシティ アートギャラリー

主催:(公財)東京オペラシティ文化財団

特別協賛:NTT都市開発(株)

協賛:シチズン時計(株)/(株)大林組

協力:キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株)/日本航空(株)

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本/駐日エストニア共和国大使館

助成:(公財)テルモ生命科学芸術財団

[アクセス]

東京オペラシティ アートギャラリー

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2

TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.operacity.jp/ag/>

京王新線:初台駅東口[直結]徒歩5分/小田急線:参宮橋駅より徒歩15分

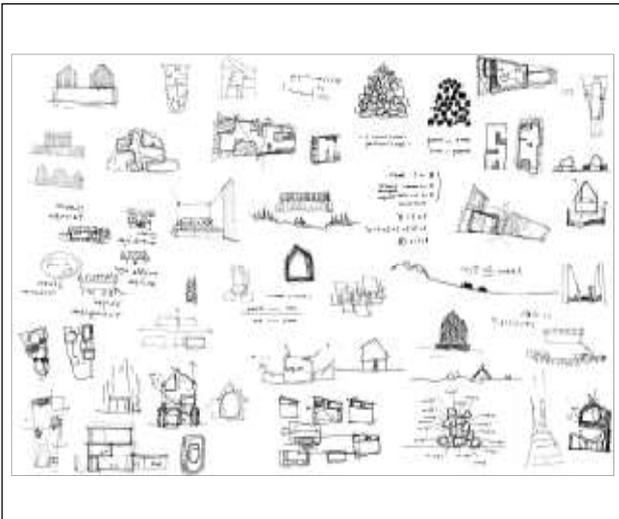
渋谷駅よりバス[約20分]:京王バス 渋61、63、64、66 /都営バス 渋66



[1] エストニア国立博物館 (2006-16年)
Dorell.Ghotmeh.Tane / Architects
photo: Eesti Rahva Muuseum



[2] 新国立競技場案 古墳スタジアム (2012年)
Dorell.Ghotmeh.Tane / Architects



[3] A House for Oiso (2014-15年)
Dorell.Ghotmeh.Tane / Architects



[4] Todoroki House in Valley (2017-18年)
Atelier Tsuyoshi Tane Architects

TOTOの建築文化活動

TOTOは、建築の専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間(ま)」と建築系書籍の出版をおこなう「TOTO出版」を運営しています。

これらは、建築文化の醸成・育成を通して社会に貢献することを目的として創設され、30余年にわたり活動しています。

「TOTOギャラリー・間」と「TOTO出版」の活動目的は、建築家もつ多様な価値観を空間で表現する「展覧会」、自身の言葉で伝える「講演会」、そしてかれらの理論と思想を伝える「出版」によって、建築家のメッセージとして発信することです。



TOTO出版

TOTOグローバル環境ビジョン

水と地球の、あしたのために。

私たちTOTOグループは、水まわりから環境に貢献するために、「グローバル環境ビジョン」を掲げ、節水や省エネなどさまざまな取り組みを続けています。環境にやさしいものづくりを行い、きれいで快適な暮らしを世界に届け、人とのつながりを大切に活動してまいります。水と地球の、あしたのために。これからも、持続可能な社会を目指して、TOTOグループ全員の力で、実現していきます。

[URL] <https://jp.toto.com/company/csr/vision/index.htm>

